

全国環境セミナー2017 開催報告

全国大学生協連学生委員会 環境セミナー実行委員会

1. セミナーの概要

(1) 日程・会場

開催日時：2017年6月24日（土）13：00～25日（日）15：00

会場：奈良教育大学（奈良県奈良市高畑町）

(2) セミナーの趣旨（「全国環境セミナー2017開催要項」より抜粋）

2015年12月にパリで開催されたCOP21（気候変動枠組条約第21回締約国会議）では、温室効果ガス排出削減のための新たな枠組みが策定され、各国での地球温暖化防止に向けた具体的な取り組みがより一層期待されます。また、2016年4月の法改正により、家庭などに向けた電力の小売りが全面自由化され、消費者として一人ひとりが意識し主体的に行動することが求められています。

社会全体で環境問題への関心が高まる中、各企業では環境マネジメントの推進や環境保全活動を行うなど積極的な動きを見せており、経済成長と環境保護を両立させた「持続可能な発展」への動きが高まっています。さらに、大学でも持続可能な社会への貢献にむけて具体的な取り組みを行う委員会を立ち上げるなどの動きもあり、大学の厚生施設を営む大学生協としての役割発揮と責任ある行動が問われています。

2016年度の学生委員会実態調査では、環境についての啓発活動を行う学生委員会が23.3%、続けてリサイクル容器回収38.6%、割りばし回収10.9%、エコキャップ回収16.8%、バザー・リサイクル市10.4%、清掃活動8.9%、エコ商品の紹介3.0%という結果になっています。新たに環境活動に取り組む学生委員会がある一方で、継続して行われている活動が作業化しているのではないかと懸念もあります。大学生協や学生委員会が行ってきた環境活動を改めて見直すことで、活動に込められた想いに立ち返ることが必要です。

このセミナーでは、「人と地球にやさしい持続可能な社会を目指す大学生協」の実現に向けて、環境問題や環境活動について知り考え話し合うことを通して過去を振り返り、一人ひとりが自分にできることを見つけ実践していくことで、これからの社会を担う一員として主体的に行動する組合員を広げていくきっかけとなるセミナーを目指します。

全国環境セミナー2017のテーマ

人と地球にやさしい持続可能な社会の実現をめざして

(3) 主催者・後援者

【主催】全国大学生協同組合連合会・JUON(樹恩) NETWORK

【後援】奈良教育大学、環境省、経済産業省、林野庁、奈良県、奈良県生協連

(4)参加実績

31 会員 1 ブロック 1 エリア 85 名、JUON NETWORK 54 名、全国環境セミナー2017 実行委員会・全国環境活動推進委員会・連合会 16 名 奈良教育大学生協 15 名 計 170 名 (以下 31 会員 1 ブロック 1 エリア内訳)

北海道大学 (1) 北見工業大学 (3)
東北学院大学 (2) 東北大学 (3) 岩手大学 (1) 弘前大学 (3) 宮城教育大学 (2) 山形大学 (1)
東北BK (1)
宇都宮大学 (1)
愛知教育大学 (5)
富山大学 (6)
滋賀県立大学 (9) 立命館大学 (4) 京都府立大学・医科大学 (3) 京滋奈良エリア (6)
関西学院大学 (2) 近畿大学 (2) 大阪大学 (6) 神戸大学 (1)
広島大学 (2) 山口大学 (3) 松山大学 (3) 岡山大学 (1) 下関市立大学 (2)
南九州学園 (1) 熊本大学 (2) 九州工業大学 (1) 福岡教育大学 (1) 福岡女子大学 (1)
福岡県立大学 (2) 西南学院大学 (2) 宮崎大学 (1)

(5)プログラム

■獲得目標

- ①地球環境を知り、自分の生活とのつながりを考え、環境活動の意義を見出す
- ②環境活動の手法や想いを知り、今後の活動に対する展望を持つ

■最終到達

- ・セミナーの学びや想いをまわりに伝え、広げ、取り組みに活かせるようになる

■1 日目(6月24日)

○開会式

一瀬実行委員長(慶應義塾生協専務理事)の挨拶に始まり、JUON(樹恩)NETWORK 生源寺会長、奈良教育大学加藤学長よりご挨拶いただきました。企画局長の齋藤より、2日間の学びの流れが説明され、セミナーの幕開けとなりました。

○企画1「地球環境・環境保全について知る時間」

最初に「環境問題」のイメージを出し合うワークで交流したあと、世界で起きている環境問題として、地球温暖化をひとつの軸にして学びました。地球温暖化によって海面上昇や生態系の変化などさまざまな問題が引き起こされることも学び、「地球が大変だ」ということを会場全体で共有しました。後半では世界で取り組まれている環境保全活動について学びました。その中で、今ある情報を鵜呑みにせず、自分自身で進んで考え、自分の考えを持つことが大切だということを知りました。



○企画2 「自分の生活を振り返る時間」



世界規模の環境問題や環境保全活動を知った後、自分の住んでいる地域で行われていることを学ぶ時間でした。その後は自分の生活を振り返るために、1日の過ごし方に点数をつけるワークを行い、改善できそうなことを探しました。世界→日本→地域→自分と視点を落としていくことで、環境問題を自分事としてとらえることができました。

まとめの提起では、一人ひとりの行動が環境に大きな影響を与えること、自分の行動でこれから自分たちが生きていく社会を選択しているということを知りました。

○講演「たすけあい・ささえあい・わかちあいの共生社会づくり～吉野共生プロジェクトの実践～」

市民生活協同組合ならコープの辻本善郎様から、上記のテーマでご講演をいただきました。

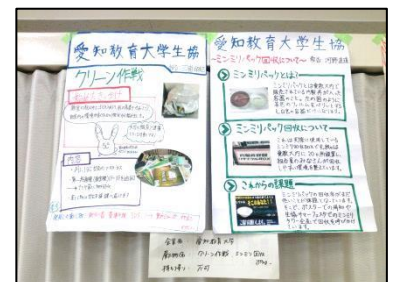


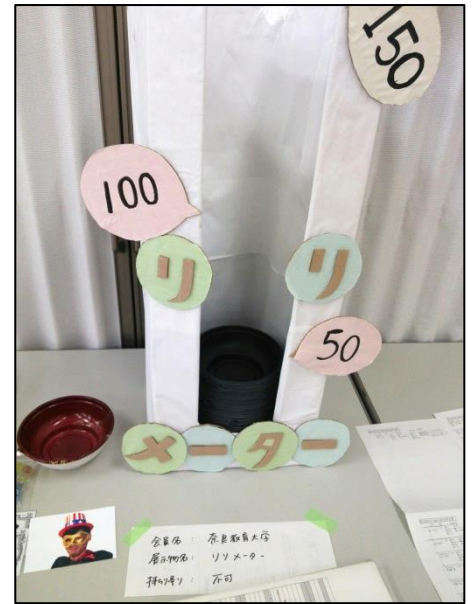
○テーマセッション

参加者から募集した22のテーマに分かれて自由に交流をしました。各テーマで楽しく交流し、自身の興味や関心をさらに深めることができました。

○展示ブース

展示ブースでは、山形大学生協、愛知教育大学生協、奈良教育大学生協、関西学院大学生協、JUON NETWORK、ヨコタ東北、グリーンツーリズムとやまの計7団体からの出展がありました。





■2日目(6月25日)

企画3「環境いつ考える?明日からではあかん、今日」

□分科会1ターム目

- ①北海道大学生協「ごみナビ」
- ②奈良教育大学生協「リ・リパック回収の取り組み」
- ③富山大学生協「再発見!私たちの街」
- ④JUON(樹恩) NETWORK「森林の楽校」
- ⑤JUON(樹恩) NETWORK「奈良・川上村での林業の取り組み①」

□分科会2ターム目

- ①関西学院大学生協「エコゲー。」
- ②奈良教育大学生協「ごみ分別釣り大会!」
- ③立命館生協「井ペリ」
- ④JUON(樹恩) NETWORK「国産間伐材製『樹恩割り箸』」
- ⑤JUON(樹恩) NETWORK「奈良・川上村での林業の取り組み②」



それぞれの分科会では、「その活動に込められた想いや背景」「いいなと思ったポイント」に注目して発表を聞き、活発な質疑応答がなされました。その後発表を聞いて感じたことや、自大学でどのように活かすことができるかという点について、グループごとに感想交流を行いました。

分科会終了後はもとの班に戻り、班ごとに環境活動を考えるワークを行いました。対象や手法などを具体的に考えてみることで、どのように環境活動を行っていったらいいか、イメージを膨らませることができました。



○企画4「これからを考える時間」

地域別に分かれ、今後の活動を考えるワークを行いました。セミナーの中で自分が大切だと思ったことや自大学の仲間に伝えたいと思ったこと、今後取り組んでみたい環境活動とそれを達成するための計画立てを行い、行動宣言をしました。



○閉会式

閉会式では、参加者を代表して5名の学生が感想発表を行い、熱い想いを会場全体に伝えてくれました。最後に、企画局長より2日間のセミナーのまとめと挨拶があり、無事にセミナーを閉会しました。



2. 今後に向けて

- 参加会員数、参加人数が年々減少しているという事実を受け止め、次年度以降の計画を立てる必要があります。
- 全国環境セミナーを、生協学生委員会だけでなく環境サークルや教職員、生協職員らが参加するセミナーとするためには、幅広い参加者層を意識したセミナーづくりをさらに一歩進めて計画するべきです。
- 環境セミナーの終了は、今後の環境活動の「出発点」を示したに過ぎません。連帯組織としては、セミナー後の参加者の成長や、会員で行われる活発な環境活動をサポートしていくことがより重要だと考えています。

